



つなぐちゃん

社協の各事業には、
社協会費が使われています

川島地区 社協だより

川島地区社会福祉協議会 地区社協だより編集委員
第28号 発行:令和7年12月1日

◆工事中の川島大橋と仮橋
(建設中の新橋脚)

人形劇団
モンメール

公演内容

日本書紀せし 桃うり殿様

ブラックシアター はる なつ あき ふゆ

夏休みふれあい交流事業 人形劇団 モンメール 鑑賞会

8月21日(木)、川島ライフデザインセンターで、川島地区を中心に活動している人形劇団モンメールによる人形劇の鑑賞会を行いました。

川島小学校学童保育の児童と、川島東こども園・川島学びの庭・育ちの庭の年長の保育園児を招いて、毎年夏休みに開催しているふれあい交流事業ですが、今年も大きな歓声のあがる鑑賞会となりました。

演目は

- 桃売り殿様
- はるなつあきふゆ

暑さ厳しい中、冷房が効いていましたが子ども達の熱気で会場内は盛り上がっていました。

普通の人形劇とは一味違う、ブラックシアターでの公演では
明るく輝く光りだす背景や人形に驚きと大きな歓声！！

桃売り殿様の1シーン

「こどもまんなかサロン」事業 実施報告

子どもから大人まで、地域の人が集う交流や仲間づくりの場を作ることにより、人とのつながりが生まれ、子どもたちの孤立防止や地域の中での健全な子育てがすすむことを目的として、企画・実施していただきました。

小網キッズクラブ子どもサロン

子ども達の長い夏休みを楽しく有意義に過ごしてもらえようように、小網町自治会長が企画されました。

7月～8月の日曜日午前中に実施しました。

前半は、夏休み中の宿題や課題を頑張り、後半はレクリエーションやゲームなど、子ども達同志で楽しく遊びました。

子ども達を見守るのは、地元自治会の方やキッズクラブ、子ども達の保護者の方など。

前半は遊びたくなる子ども達に、大人の方は声掛けしながら勉強を促し、後半は子ども達が思いつき身体を動かして楽しく歓声をあげていました。



▲前半のお勉強タイムは全員机に向かって静かに鉛筆を走らせます

◀最終日はウイナーカレーを食べました！

後半は遊びの時間。この日は大広間で柔らかいボールを使いキャッチボールで楽しみました▼



みんなで楽しむ会

8月14日に開催される川島地区盆踊り大会に向けて、地元で伝わる「川島音頭」をはじめ、新各務原音頭・郡上踊りや炭坑節など、子どもから大人まで、踊りを楽しめる機会をもうけたいと企画されました。



▲踊りの練習風景

最終日は集合写真を撮りました▼



地元で活躍されている踊りの先生の丁寧な指導のもと、初日は覚えられない身振り手振りでしたが、回を重ねるごとに踊れるようになってくると、参加されている方々の踊りの一体感が感じられるようになりました。

本番の盆踊り大会では、踊りの輪も出来、楽しく踊りに参加する事が出来ました。



高齢者配食サービスで安否確認！

11月27日・28日、ひとり暮らし高齢者の方に美味しい食事を味わってもらおうと、川島地区社協事業で「配食サービス」を行いました。

あゆみの会の協力を得て、前日から材料の買い出し、下ごしらえをし、当日は本会役員も川島健康福祉センターの厨房に入り、煮たり揚げたり、出来上がった料理の盛り付けをしたりと、弁当は写真の通り豪華なものになりました。

完成したお弁当は、社協役員が担当の区域の高齢者に安否確認とともに配達しました。



調理室では下ごしらえから仕上げまで



完成したお弁当!!
全部で100食弱を作り温かいうちに
それぞれ担当地区に分かれて
配達しました。

調理室の隣では弁当容器に
具材を丁寧に手早く入れていきます

受け取りされた方は「いつもありがとうございます。元気で過ごしています。今年も美味しくいただきます。」と受け取られていました。

川島のボランティアハウスの紹介③

川島地区で行われているボランティアハウスを紹介していきます

マーじゃん楓 河田



楽しいマーじゃんで脳トレ！
和気あいあいと活動中！

ハウスを立ち上げて6年。参加者も20人を数えます。
このハウスの特徴は、勝負にこだわらないので、争いもなく、
気楽にできること。そして好きな時間に参加できることです。

午前が都合悪くなれば午後、午後に都合が悪ければ午前に参加することができます。

立ち上げ当時の初心者は「あの当時は覚えることで必死でしたが、上達しましたよ。今ではおしゃべりしながら指を動かしています。」と語っています。

指を動かすこと、話をするのがボケ予防。みんなボケないように脳トレでわいわいと楽しく活動しています。

活動日／毎月第1、第3水曜日
活動場所／河田公民館
参加者数／20人
代表者／横浜勝治さん

※現在、台の関係で新規の申し込みは受け付けていません



午前の部の参加の皆さん

ボランティアハウスって何???

地域の高齢の方や体の不自由な方、子育て中の方など、家に閉じこもりがちな方たちが気軽に集い、楽しく過ごせる場所と内容を自分たちでつくっていく活動です。気軽に無理なく楽しく自由に楽しみながら活動しています!

←この幟旗が目印です! ハウスを立ち上げたい方はこちらまで……各務原市社会福祉協議会 (☎058-383-7610)へ

地域包括
ネットワーク
会議

ひきこもりについて考える

7月23日、ひきこもり支援についてお話をいただきました

『ひきこもり』とは、様々な要因の結果として、社会的参加(就学、就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしていてもよい)のことを言います。

ひきこもりについての理解や行政の支援体制等の話の後には各グループに分かれてグループワークを行い、皆さんが疑問に思っていることや、体験談・困った事などをそれぞれ話題を提供し、参加された皆さんで意見交換を行いました。

ひきこもりは、ご本人にとっては、ひきこもらざるを得ない深刻な事情や生きづらさがあります。ご家族は本人との関わり方について、大いに悩み苦しみます。

本人もご家族も先が見えない状況で、将来のことを考えすぎるほど考え、解決策を見いだせないことへの苛立ちや不安などを心に抱え、これがやむを得ない選択肢としてのひきこもりに繋がっています。

ひきこもりに悩むご本人とご家族へ

生活相談センターさぽーとでは、ひきこもりに関する不安や悩みを、本人や家族から受け付け、相談を通じて気持ちを軽くしたり、今後の見通しづくりを支援する窓口です。
来所・電話・メール・訪問で相談できます。

相談窓口/各務原市社会福祉協議会 生活相談センターさぽーと
場所/ 各務原市那加桜町2丁目163番地 総合福祉会館2階
対象/ 15歳(中学卒業後)以上の方とその家族
※中学生以下の方も相談窓口があります

フリーダイヤル/0120-198-365

受付日時/ 月曜日～金曜日(祝日を除く) 8:30～15:15
e-mail/sapo-to@kakamigahara-shakyo.jp

本人自身が尊重され、安心できる居場所があることよって初めて、本人も周囲の雑音から距離をとり、自身の生きづらさと静かに向き合い、次の一歩を踏み出せるようになります。それは大切な時間です。ゆつくり考えて行動していきましょう



ひきこもりからの回復

ご家族はひきこもった理由探しをする傾向があります。本人は、はつきりわからないことも多く、ひきこもりの理由探しを続けることで家族の自責感の増大や自己責任論になる事が多く、ご本人もご家族も一層、心の孤立を深めていきます。

ひきこもりはじめの段階



古希・在宅介護者・一人暮らし高齢者の集い

今年は川島地区で126名の皆様が古希を迎えられました。

『古希の集い』を開催いたします。

ご案内状やお誘い頂いて参加申し込みされておられる皆様、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

場所/川島ライフデザインセンター 集会室

開催日時/令和7年12月6日(土)

受付 9時30分～

開演 10時～12時30分

演目等

『ソプラノアリアの癒しのメロディ』

『お楽しみ抽選会』

など

「古希の集い」を開催します！